

Mr. Bassman (ベースマン列伝) vol.33

ジャズにおいてベース弾きとは、縁の下の力持ち、水先案内人といったやや日陰の存在。おまけに、ウッドベースなら持ち運びも大変……。だが、黙々とベースをウォーキングさせ、バンドをスイングさせることに魂を注ぐベースマンが、一度化けの皮を剥くとももの凄い名演・名盤が生まれるのだ。このコーナーでは、そんなジャズ・ベースマンの偉業を称えるとともに、ジャズ・ベースの素晴らしさを伝えていきたい。

Major Holley【メジャー・ホリー】

Profile

1924年7月10日、米国ミシガン州デトロイト生まれ。本名はMajor Quincy Holley Jr.。6歳の時にヴァイオリンを始め、ピアニストだった母親の影響で幼少期はクラシックを聴いて育つ。10代前半の頃にラジオでスラム・スチュアートのベースを耳にする。高校時代にチューバを演奏。37年よりヴァイオリン奏者としてプロ活動を開始。42年に海軍に入隊し、ベースを弾き始める。除隊後サンディエゴに移り、チャールス・ミンガスにベースを学ぶ。40年代後半より、デクスター・ゴードン、チャーリー・パーカー等と共演。50年にオスカー・ピーターソンと初コーディングを行なう。51年に英国に渡り、BBCのスタジオ等でフリーランスとして活動。56年に米国に戻り、イリノイ・ジャケのバンドで活動。その後、コールマン・ホーキンスやエラ・フィッツジェラルドと共演。58~59年にかけて、アル・コーン、ズート・シムズのバンドで活動。60年以降、ビル・エヴァンス、デューク・エリントン、ケニー・バレル等と活動。67~70年までバークリー音楽大学で講師を務める。81年にスラム・スチュアートと『Shut Yo' Mouth』でアルバム共演。ベースを弾きながら歌うスタイルとMuleという愛称でも親しまれた。1990年10月25日ニュージャージー州メイブルウッドの友人宅で心臓発作のため死去。享年66歳。



Photo: mule! / Major Holley (Black & Blue : 33.074)

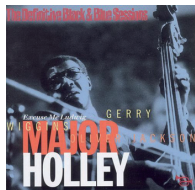
魂のハミング・ベース・ソロで名を馳せたベースマン

10代前半の頃にラジオから流れてきたスラム・ゲイラードとスラム・スチュアートのデュオ「スラム&スラム」による「Champagne Lullaby」で、スラム・スチュアートのアルコ（弓弾き）とユニゾンで歌う有名なハミング・ベースによるソロを耳にしたことが、後にウッドベースを弾くきっかけになった。そして、そのスラム・スチュアートのハミング・ベースのスタイルを継承する形になったメジャー・ホリー。

高校時代にはミルト・ジャクソンやラッキー・トンブソン等とクラスメートだったという。1966年頃からはエレキ・ベースでも活動し、“モダン・ブルース・ギター之父”と称されたブルースマン＝T・ボーン・ウォーカーとも共演歴がある。大柄で厳つい体格に似合わぬ愛嬌ある人懐っこいような表情も素敵で、多くのジャズ・ミュージシャン仲間から人望を集めたと言われる。晩年まで熱いベースマン魂を見せてくれた。

MH's Great Albums

スラム・スチュアートとの共同名義アルバム『Shut Yo' Mouth』やサイドマンとして参加したスタンリー・タレンタインの『ネヴァー・レット・ミー・ゴー』等もお薦めです。

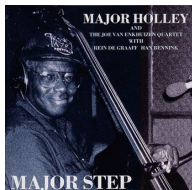


Excuse Me Ludwig

Major Holley

(Black & Blue : BB-889)

1977年録音。ジェリー・ウィギンス(p)とオリバー・ジャクソン(ds)とのトリオによるメジャー・ホリーのリーダー名義アルバム。全12曲収録。

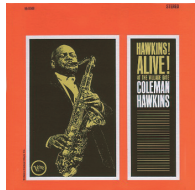


Major Step

Major Holley

(Timeless : SJP-364)

1990年録音。メジャー・ホリーが亡くなる3ヶ月前にオランダで録音された最後のリーダー・アルバム。晩年のベース・プレイが堪能できる作品。



ジェリコの戦い

コールマン・ホーキンス

(ユニバーサル・ミュージック : UCCU-6117)

1962年録音。ジャズ・テナーの父＝コールマン・ホーキンスの名盤で、メジャー・ホリーのハミング・ベースを世に知らしめた名ライブ・アルバム。



ミッドナイト・ブルー

ケニー・バレル

(ユニバーサル・ミュージック : TOCJ-90065)

1963年録音。ケニー・バレル(g)のリーダー作 & 代表作。メジャー・ホリーの他、スタンリー・タレンタイン(ts)、レイ・バレット(cga)等が参加。